



提供：（公社）鹿児島県工業倶楽部

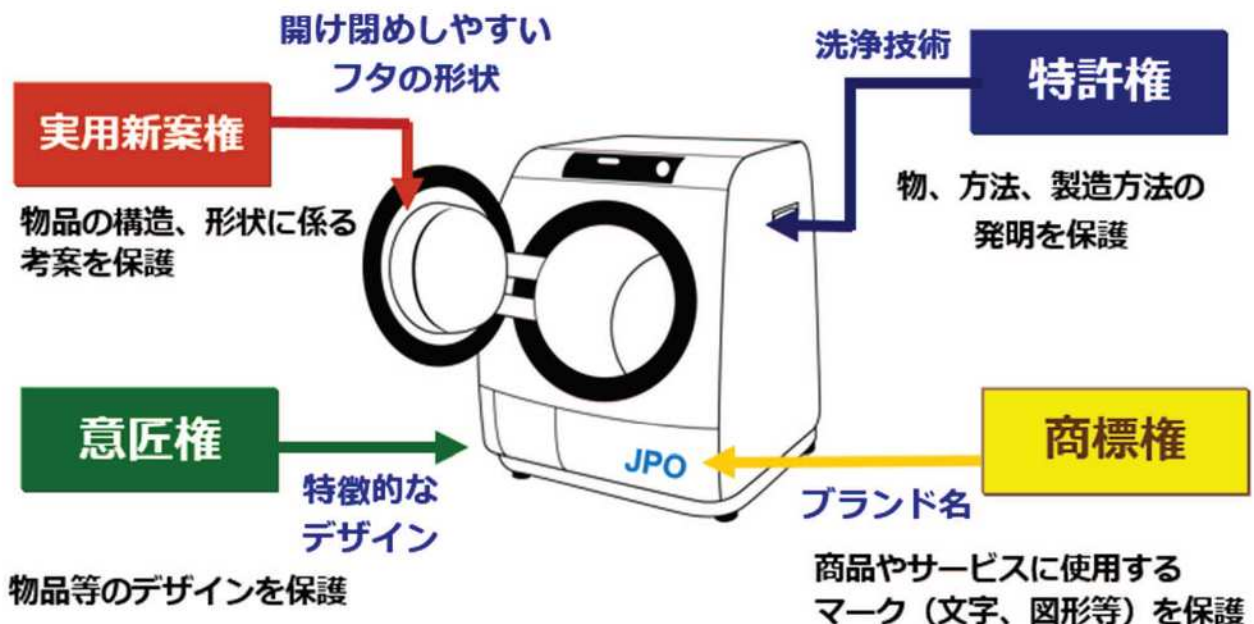
2 知的財産権（産業財産権）ってどんなもの？

知的財産権のうち、特許権、実用新案権、意匠権及び商標権の4つを「産業財産権」といい、特許庁が所管しています。

産業財産権制度は、新しい技術、新しいデザイン、ネーミングなどについて独占権を与え、模倣防止のために保護し、研究開発へのインセンティブを付与したり、取引上の信用を維持することによって、産業の発達を図ることを目的にしています。

これらの権利は、特許庁に出願し、登録することによって、一定期間、独占的に実施（使用）することができます。

産業財産権の例

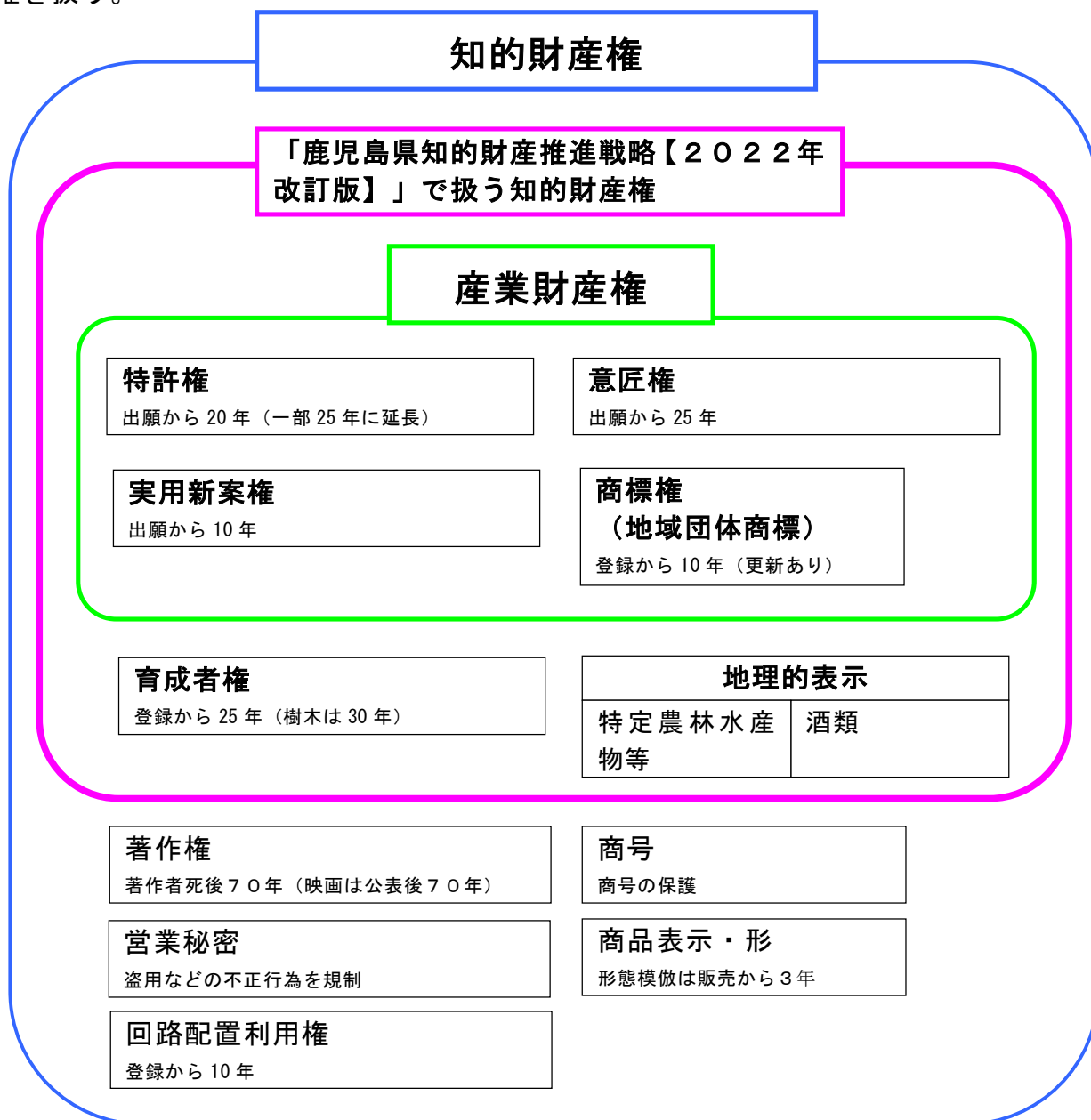


出典：2021 年度知的財産権制度入門テキスト（特許庁）

(https://www.jpo.go.jp/news/shinchaku/event/seminer/text/document/2021_nyumon/1_1.pdf)

＜「鹿児島県知的財産推進戦略【2022年改訂版】」で扱う知的財産権の範囲＞

本県が策定する「鹿児島県知的財産推進戦略【2022年改訂版】」は、次の知的財産権を扱う。



「知的財産」とは、発明、考案、植物の新品種、意匠、著作者その他の人間の創造的活動により生み出されるもの、商標、商号その他事業活動に用いられる商品又は役務を表示するもの及び営業秘密その他の事業活動に有用な技術上又は営業上の情報をいうが、このような知的財産のうち権利化されたものを「知的財産権」という。さらに知的財産権のうち、特許庁が所管している権利を「産業財産権」という。

3 県内企業の取組事例

県内企業の取組事例①

高い開発力と知財戦略で活躍の場を広げるグローバル企業

■農業、環境、宇宙、エネルギーなどの広範な分野で新製品開発 (株) エルム 南さつま市



<主な製品例> (R3.11月末現在)

- ・光ディスク修復装置（自動機世界シェア80%以上・世界37か国で稼働中）
関連特許 8, 実用新案 1
- ・コンテナ型植物工場「エコナーセリー®」
登録商標, PCT出願 (米, 中, 韓, E U), 他関連特許 2 件出願中
- ・「アクアファンタジー®」フルカラーLEDを光源とした水中イルミネーション照明
登録商標, 国際特許 (米, 中, 韓, E U)



エコナーセリー®

船舶輸送などに多用される高断熱コンテナを利用し、LED照明や温度、養液などの内部環境を育成時期に合わせて最適に自動制御。育苗トレーの移動もロボットが行うなど最小限の労力で一般温室の同面積費32倍の収穫を実現。

代表から一言



(株) エルム 代表取締役
宮原 隆和 氏

知的財産は、製品や技術ではなくビジネスを守るために使いましょう。企業が発展するため必要不可欠な武器です！

県内企業の取組事例②

食肉処理の課題解決に挑み続けるオンリーワン企業

■食肉処理の自動省力化機械の開発 マトヤ技研工業 (株) 曾於市

- ・自動省力化機械の開発を通じて、食肉処理現場が抱える課題（高齢化、後継者不足）を解決。
- ・これまでに開発した食肉機械は59機種、27の特許・実用新案を取得しオンリーワン製品を数多く生み出している。（R3.11月末現在）
- ・製品は、国内のみならず中国、韓国、アメリカなど15カ国に輸出。

<主な製品例>



せせり切剥機
「トリ・ドリ・ミドリ」



鶏ボンジリ
自動脱骨機
「鶏・マーくん」



センマイ洗浄機
「ナンマイダ」



肋骨剥離機
「ミスターテンドー」

代表から一言



マトヤ技研 (株)
代表取締役会長 益留 福一 氏
創業時の夢は「オンリーワン商品の開発、知的財産権を取得し、海外に輸出する！」でした。夢がかなった今、満足することなく更なる挑戦を続けます！